

JFAのガイドラインより

- ・「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

コロナ前の日常が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計する

- ・サッカー界の抜本の見直し

今回のコロナ禍を契機とし、組織の在り方や個別事業の設計について抜本的な見直しを図る（リスクとチャンス）

【安全を最優先にリーグを行う】

生命、健康の安全を最優先に、感染拡大リスクを最大限に排除した、選手・チーム・指導者・運営スタッフ等、フットボールファミリー全体が安全に活動できる環境を協力し作る

① かからない、うつさない為の健康チェック

各チームに健康管理者を置き、参加者（選手、役員）に試合1週間前から健康チェックシートへ記入させ、参加者の健康チェックを行うこと。健康チェックシートの確認方法はチームにお任せする。

試合当日、健康管理者は参加者の健康チェックシートの確認を行った後、メンバー表の体温・体調欄に健康チェックを記入し事務局に提出する。

（健康チェックシートのリーグ運営者への提出は求めないが、JFAガイドラインより、感染者が出た場合には健康チェックシートの提出が求められているので、健康管理者は、参加者が作成している健康チェックシートの管理を行っておくこと。）

- ② 来場者は決められた入り口から入場し、検温・手指消毒を行う。体温 37.5 度以上は入場を認めない。応援や観戦は活動レベルにより人数制限をする。※図①参照
- ③ 入場者は必ずマスクを着用する。試合中のチームスタッフはマスク着用が望ましい。メンバー表の役員欄に記載している者の中から最小限のスタッフで試合に参加すること。メンバー表に記載されていない者の参加は認めない。
- ④ 事務局が準備したメンバー表へ健康チェック等必要事項を記入し提出すること。事務局からペンの貸し出しは行わない。
- ⑤ ベンチは設置しない。エリアを設けるので、その範囲内に選手間の距離をとって座ること。
- ⑥ 選手は各自マイボトルを準備し、アイシングバックなども他の選手と共有しないこと。
- ⑦ チームで消毒剤を準備し、定期的に手洗い・消毒を行うこと。マイタオルを持参すること。
- ⑧ 試合前後の挨拶は行わない。円陣やハイタッチも行わず、できるだけ接触を避けるこ

と。

- ⑨ ビブスは着用しないことにする。このため入退場時のビブスの受け渡しも行わないが、入退場のルールは厳守すること。
- ⑩ オフィシャルも最小人数で行う。使用した机や椅子、器具等はこまめに消毒をする。
- ⑪ ミーティングや着替えは手早く行い、間隔をあけて密にならない配慮をお願いする。

①～⑪を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。参加チームは、その点を理解した上で参加していただくとともに、関係者への周知と、対策の実行をお願いします。

※図①

活動レベル	対象	入場者数
1 緊急事態宣言	当該都道府県が対象の地域	—
2 感染拡大注意	当該都道府県が対象の地域	最大 50 人程度
3 感染観察	当該都道府県が対象。他地域で政府の 3 区分が混雑	100 名以下、かつ定員の 50%以下
4 感染観察	全ての都道府県が対象の地域	制限なし
5 感染観察	全ての都道府県が対象	制限なし

2021 年度高知県フットサルリーグ（3 部・エンジョイ）は 5/8（土）開幕予定。

但し、高知県の活動レベル※図①参照 が、1 又は 2 になった場合、状況を見て開幕延期や中止の判断を行う。

コロナへの感染が発覚した場合、速やかにリーグ運営へ連絡をお願いする。

感染疑いの段階でも連絡すること。参加者に注意喚起を行う。

リーグ参加者に感染者が出た場合は、スポーツ庁や、JFA ガイドラインに従い、リーグは中止し、参加者は自粛していただくことになる。

感染被害の状況や、会場利用の許可が出れば、再開を検討する。

参加者がコロナの濃厚接触者と特定された場合も、状況を確認し、試合の有無を検討する。